

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和7年8月20日	担当部署	産業部 産業政策課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和7年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	有限会社 やまざくら		
代表者	代表取締役 飯田 多津子		
	☐ 常勤	☒ 非常勤	☒ プロパー ☐ 市兼務 ☐ その他
所在地	新潟県上越市大島区大平 3874 番地 1		
設立年月日	平成9年7月14日		
資本金	11,600 千円	市出資割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営を通じ、若者を中心とする人口流出による過疎化が進む大島区において、生鮮食料品の販売を中心とした営業を展開し、住民生活の利便の向上を図る。		
主な事業	(1) 大島やまざくらの管理 (2) 大島やまざくらの運営（穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水、日用品雑貨、酒類及びたばこの販売） (3) 移動販売車による食料品等の販売		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	0	2	2	2	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	0	3	3	3	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	2	2	0
その他	3	3	0
計	5	5	0

5 事業実績（概要）

【第 28 期の経営状況】

- ・ 第 28 期（令和 6 年度）の売上高は、前期と比較して 7,561 千円増（12.5%増）の 67,810 千円となりました。店舗では、地元商工会が実施する消費喚起の取組などにより利用者数が 1,747 人増加し、それに伴い売上高も 3,508 千円増加しました。また、移動販売では、大雪による影響で訪問範囲が制限されたことから、利用者数が 300 人減少したものの、顧客のニーズに合わせた商品提供に努めた結果、売上高は 765 千円増加しました。
- ・ 売上原価は、前期と比較して 4,089 千円増の 47,661 千円となり、売上高原価率（指定管理料を除く売上高に占める売上原価の割合）は、前期と比較して 1.3 ポイント増の 79.1%でした。
- ・ 販売費及び一般管理費は、役員報酬の増額や電気料金高騰の影響などにより、2,120 千円増の 19,184 千円となりました。
- ・ この結果、営業利益は 965 千円、経常利益は 2,030 千円、当期純利益は 1,486 千円を計上し、11 期連続の単年度黒字となりました。また、第 28 期末の純資産は 16,709 千円となりました。

【第 28 期の主な取組】

- ・ 店舗バックヤードの空きスペースを、地域住民の憩いの場として整備しました。
- ・ 移動販売では、前期に引き続き、利用者の需要に応じた仕入れに取り組みました。

【売上高の実績】（税抜）

（単位：千円）

部門	第 26 期	第 27 期	第 28 期	
	実績	実績	目標	実績
店舗	42,294	43,789	41,500	47,297
移動販売	10,835	12,181	12,001	12,946
指定管理料	4,279	4,279	5,959	7,567
合計	57,408	60,249	59,460	67,810

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

※ 第 28 期の指定管理料について、売上実績に基づき指定管理料を再算定し、増額しました。

【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	第 26 期	第 27 期	第 28 期	
	実績	実績	目標	実績
店舗	34,343	33,303	33,200	35,050
移動販売	4,731	5,250	5,455	4,950
合計	39,074	38,553	38,655	40,000

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 26 期 自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	第 27 期 自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日	第 28 期 自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	57,408	60,249	67,810
	売上原価	40,971	43,572	47,661
	売上総利益	16,436	16,677	20,149
	販売費及び 一般管理費	17,013	17,064	19,184
	営業利益	△577	△387	965
	営業外収益	377	379	1,066
	営業外費用	1	1	0
	経常利益	△200	△9	2,030
	特別利益	479	562	118
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	279	553	2,149
	法人税等	253	282	663
	当期純利益	25	271	1,486
項 目		令和 5 年 3 月 31 日現在	令和 6 年 3 月 31 日現在	令和 7 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	17,689	19,197	20,989
	負 債	2,737	3,974	4,280
	純資産	14,952	15,223	16,709
	資本金	11,600	11,600	11,600
	利益剰余金	3,352	3,623	5,109
	その他	0	0	0

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位: 千円)

内訳		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
①	大島やまざくら 指定管理料	4,707	4,707	8,324	
計		4,707	4,707	8,324	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位: 千円)

内訳		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
①	補助金 (助成金)	200	400	0	
	エネルギー価格高騰 支援金	200	400	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 (補填金)	278	161	0	
	エネルギー価格高騰 補填金	278	161	0	
計		478	561	0	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額 (税込)

(単位: 千円)

内訳		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
①					
計		0	0	0	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

第29期は、売上高 67,018 千円、営業利益 1,510 千円、当期純利益 1,217 千円の計上による12期連続の単年度黒字を目標に、次の取組を行います。

<店舗部門>

- ・前期に整備した憩いの場を提供し、地域住民とのコミュニケーション強化につなげる。
- ・新たに大島小学校の体操着を取り扱うほか、弁当などの注文販売に取り組むなど、取扱商品の充実を図り、売上の向上につなげる。
- ・価格転嫁のほか、発注の精度向上や値引きタイミングの見直しを行い、食品ロスの削減を推進する。特に、野菜苗やお中元、お歳暮商品などの取扱いを注文販売に切り替えることで在庫管理の負担を軽減し、廃棄量の削減を図る。

<移動販売部門>

- ・店舗までの移動手段がない高齢者等に対し、希望する商品の速やかな提供を心がけるとともに、戸別単位での見守りを兼ねた細やかなサービス提供を行う。
- ・移動販売先の新規要望があることから、採算性を考慮しながら新たな利用者を開拓していく。

【目標売上高】

(税抜、単位：千円)

期	店舗	移動販売	指定管理料	合計
第29期	46,900	12,690	7,428	67,018

(2) 中長期経営計画

なし

10 令和7年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋

D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある、若しくはそのおそれがあるか	はい →	外部専門家に見解を求める
↓いいえ			
C	3期連続の赤字であるか	はい →	
↓いいえ			
B	法人の経営の持続可能性に懸念のある事項はあるか	はい →	
↓いいえ			
A	現状では、当該法人の経営状況に問題（課題）なし		

フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
【特記事項】 特になし		